

■伊東玄朴 蘭方医。種痘館(のちの種痘所、西洋医学所)の設立に尽力、幕府医官に西洋医学採用の道を開いた。

いとうげんぼく

伊能測量始・1800＝ 肥前国神崎郡仁比山村で、貧農執行家の長男に生まれる。名は勘造。

母方の縁者佐賀藩士伊東家の養子となる。

浮世風呂・・・1809＝9歳：

・・・1810＝10歳：村の不動院の住職から漢学を学ぶうち、

医を志し、

・・・1815＝15歳：近隣の漢方医古川左庵に入門して、漢方を学び

**水野忠成**老中1818＝18歳：父が死去したのを機に、開業。

やがて、蘭方を志すようになって、

**英船浦賀来航**1822＝22歳：佐賀藩医島本良順に蘭方の手ほどきを受け、その紹介で、

**シボク** 朴来日・1823＝23歳：長崎に遊学して通詞猪俣伝右衛門の学僕となって蘭語を学び、

**シボク** 朴鳴滝塾1824＝24歳：母が死去。ついでシーボルトが始めた鳴滝塾に通う。

異国船打払令1825＝25歳：シーボルトらの江戸参府のとき、猪俣一家とともに江戸に下る途中、伝右衛門が沼津で病死したため、後事を託されて、江戸にとどまり、のちにその娘を娶る。

・・・1826＝26歳：江戸で開業、かたわら医学書の翻訳に従事するうち、

日本外史・・・1827＝27歳：

**シボク** 朴事件・1828＝28歳：

富嶽三十六景1831＝31歳：**\*佐賀藩主鍋島侯から一代士分に取り立てられ、侍医となる。**

天保大飢饉始1833＝33歳：御徒町に蘭学塾(象先堂)を開き、診療所・調薬所に加えて寄宿部屋を備え、多くの医生を育成しながら、

高島砲術・・・1834＝34歳：この年、佐賀藩に医学寮が設置され、島本良順が寮監となる。

滑稽+人情本 1835＝35歳：**\*ピショップの内科書を訳述した「医療正始」24巻を公にし、名声が高まり、**

・・・1836＝36歳：

**大塩平八郎**乱1837＝37歳：

「西洋鉄煩鑄造編」など多くの訳述を行って、江戸の蘭方医の中心人物の一人となり、

適塾ホブソンの 1838＝38歳：この頃から、藩内でも蘭方が認められようになり、

順天堂始・・・1843＝43歳：藩主鍋島直正の匙医に取り立てられる。

**阿部正弘**首座1845＝45歳：

孝明天皇・・・1846＝46歳：庖瘡流行の動向に、直正に牛痘苗の輸入を進言、

北斎没・・・1849＝49歳：長崎に到来した痘苗を活用し、長崎・佐賀で成功、これが西日本に普及する。

**ペリー**来航・1853＝53歳：

開国開港・・・1854＝54歳：

五ヶ国条約・1858＝58歳：**\*江戸神田お玉ヶ池の種痘館(のちの種痘所)の設立に尽力、將軍家定の診察を依頼されて、蘭方初の幕府奥医師となり、幕府医官に西洋医学採用の道を開く。法眼となる。**

**桜田門外変**・1860＝60歳：

**遣欧使節**・・・1861＝61歳：種痘所が西洋医学所と改称、その取締となり、法印に叙せられ、長春院の号を賜るが、

8月18日政変 1863＝63歳：**\*罷免され、**

**明治維新**・・・1868＝68歳：

廃藩置県・・・1871＝71歳：没した。